

シグマ研究委員会

47年度第3回拡大幹事会議事録

日時：昭和47年9月21日（木） 14:00～17:20

場所：東海研，V. d. G. 29号室

出席者：百田（東北大），中嶋（法政大），松延（住友），
桂木，更田，塚田，西村，五十嵐（原研）

議事：

1. Fröhner, Rosen 両氏の来日に関する件。

10月24～26日に東海研に來所するに際し，NEAの諸活動についてわが国中性子データ関係者と十分意見交換を行う場を設けるため，10月24日（火）に東海研で次回シグマ委員会（ワーキンググループメンバーを含む）を開くことになった。

シグマ委員会関係の全般的なこと（JNDCとJAERIとの関係，JNDCの性格，組織，背景等）については百田委員長が説明し，各ワーキンググループの活動については，桂木，五十嵐両部会長が説明（またそのとりまとめ）を行うことになった。

なお，Σ委に関するFröhner, Rosen両氏のスケジュールは

24日（火）午前：一般講演

25日（水）午前：核物理関係者との討論，午後所内見学

2. Symposium on Applications of Nuclear Data in Science and Technology に関する件。

来年3月に開かれる上記シンポジウムのために，small preparatory meetingを開き，どのようなトピックスについて会合を開いたかをIAEAに知らせる要請をINDC委員として西村がうけている。シグマ委が関係すると思われるシンポジウムのトピックスとして“Fission

Reactors”があげられている。contributed papers の可能性等種々検討の結果、シグマ委員会関係でとくに contributed paper を準備するようなことはしないことになった。

3. 安全保障核データリクエスト作成に関する経過、現状、とりくみ等について、塚田委員から報告、説明があった。

4. 核融合核データリクエストリストに関するシグマ委員会の考え方について、百田委員長から説明があった。

現在 IFRFC (International Fusion Research Council) の委員 (伏見教授) と連絡をとっている。

5. その他

第 16 回 EANDC 会議 (11 月) に出席するに当り、塚田委員から次項について説明があった。

a. 第 17 回 EANDC 会議 (次々回) を日本で開くことの可能性、ならびにその際の Topical Conference のテーマ。

予算的には原研で準備してある。時期は 73 年 12 月または 74 年 1 月。適当なテーマを考えてほしい。

b. EANDC のメンバーを 1 名増員する可能性の問題。

事情説明が行われた。次回シグマ委でさらに検討することになった。